

1. 全国学力・学習状況調査の結果

国語

国語は、全国平均よりやや下回っていました。「話すこと・聞くこと」では、必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心をとらえる問題はよくできていました。一方、「読むこと」の、文章と図表などを結び付け、必要な情報を見つける問題に課題があります。これは、自分の考えを文章と図表などで表現する機会が少
ないことが原因であると考えます。

算数

算数は、全国平均とほぼ同じでした。特に「数と計算」「データの活用」では、加法と乗法の混合した計算、分配法則を用いた問題、二次元の表から、条件に合う数を読み取る問題はよくできています。一方、「数と計算」で、筆算の手順を図や言葉を用いて説明する問題に課題が見られました。計算についての基礎的な知識は十分ですが、問題を機械的に解いて
おり、計算の手順を説明することに慣れていないことが原因と考えます。

児童質問紙（生活や学習についての意識調査）※主な項目を抜粋

- ◇夢や目標をもっている児童の割合が県や全国よりも高く、将来の自分を見据えて生活していることがわかります。
- ◇地域や社会をよくするために何かしてみたいと思っている児童の割合が多く、地域貢献の気持ちの高さがうかがえます。
- ◆自尊感情の高い児童の割合が低く、自分のよさに気付いていないようです。また、家で自ら計画を立てて勉強している児童の割合が低かったです。

2. 今後の取り組み、ご家庭へのお願い

○学校の取り組み

- ◆国語の結果から見える課題は、文章と図表などを結び付け、説明したい内容に必要な図や表を見つける問題です。課題解決のために、がんばりタイムや週末課題等で繰り返し復習していきます。
- ◆算数の結果から見える課題は、自分の考えを書き、図を使って説明する問題です。課題解決のために、がんばりタイムや週末課題等で復習していきます。
- ◆児童質問紙の結果から見える課題については、自尊感情を高めるために学級活動や委員会活動の活性化を図り、よさを認め合える関係を作ります。また、自分で計画を立てて勉強できるように学校でも例を挙げながら説明していきます。

○ご家庭へのお願い

「自分のよいところがある」といった**自尊感情**、「平日の家庭学習時間の確保」「自分で計画を立てて家庭学習をする」といった**家庭学習習慣の定着**は、学力の定着と関係が深い、ということが全国調査からわかっています。実は、本校は、この二つの項目が例年、全国と比べて低い傾向にあります。

そこで、保護者の皆様に次の点についてご協力をお願いします。

① 自尊感情を高めるため

- ・「親子ふれあいデー」などを活用して、お子さんのいいところをたくさん伝え、ほめてください。
- ・子どもが自分で目標を決めて、そこに向けてコツコツがんばり、達成感を味わうことができるようご家庭でも働きかけてください。

② 家庭学習習慣を定着させるために

- ・学年×10分+10分、家庭で机委につくようにさせてください（塾や家庭教師も含む）。
（例）6年生の場合 $6 \times 10 + 10 = 70$ 分
- ・上記の時間は、宿題をする時間も含まれます。したがって、宿題が早く終わった場合、自分で決めた課題に取り組むよう、学校でも指導しますので、ご家庭でもお声かけください。
- ・チャレンジウィークは、「自分で計画を立てて家庭学習をする」よい機会です。チャレンジウィークの取組みが、お子さんの家庭学習習慣の定着につながるよう、働きかけをお願いします。